

私のAction！！
“考える” から “実践” へ！ 一歩踏み出し行動してみよう！

職 名（ 主任事務主事 ）
経験年数（ 11年目 ）

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



- 私は “子どもたちのために” ※複数回答可
- ☐ 業務改善 ☐ 地域協働・教育課程
☐ 組織力向上 ☒ 財務マネジメント
☐ その他（意識改革・環境整備等）：

に関することをやってみる！

“思いとビジョン”

挑戦したい取組・なぜそう思ったのか

公費予算執行に関して、購入物品の精査をする

購入希望物品を聞き取る中で、「本当に必要なのか、代用できる物はないか、教育効果はあるのか」と疑問に感じることもあり、使うべき場所に効果的な公費執行をしたいと思ったため。

“未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか

必要な物を購入することで充実した授業を行える。充実した授業を行うことで達成感を感じることもできる。また、体験活動を行うことにより社会の一員であることを感じとってほしい。このようなことにより自己肯定感や自己有用感を高められると考えたため。

そのためには…？どう “コーディネート” する？

誰とどのようになにをするのか “つなぐ” 役割として、どのように調整しまとめていくか など

公費予算と教育をつなぐために、学校経営管理計画と学校予算のつながりの見える化を図り教育目標の達成に向けた執行計画を立てる。各教科、各分掌とも年間計画を立てているため、予算の執行計画とマッチングさせる。必要となる物品がある場合には、予算にも限りがあるため各担当への聞き取りを行いその後、予算委員会を開催する。各担当への聞き取りの際になぜ必要なのか理由を聞くようにすることで、費用対効果の高いものを選ぶことができる。学校運営協議会での地域の声も反映できるよう、学校予算について話す場をもつ。

目標達成に向けて、必要な力とは？ 人材育成指標を確認して必要な力をチェック

[【人材育成指標を確認！！】](#)

- ☒ 調整力 ☐ 組織力 ☒ その他（下線部に記入）
☐ 企画力 ☐ 実務能力 コミュニケーション力



※複数回答可

参考例：滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標

【実践の振り返り】

★Action 取組結果

（行動したことにより、どのような効果があったのか 子どもの姿・組織力・教育力向上との結びつき）

取組を行った結果、子どもの姿や組織力等がどのように変化したか など

教職員との対話を重点に置き思いを聞くことで、購入希望物品の必要性やどのような授業を想定しているかなど知ることができた。その中で代替品や代替案など提案することもできた。授業を見に行き子どもたちが笑顔で授業を受けていたので充実した授業をしていることが想像できた。体験学習では「防災教育」として避難所の開設・かまどベンチの活用を行った。実施要項を確認する中で必要物品についてリストアップし学校予算にて執行した。また、関係機関の協力を得て実践したため関係機関の方とも連絡調整をする必要があった。担当教員が主体となって連携していたため、関係機関と担当教員をつなぐ役割として今後携わっていかれたらと思った。実施した防災教育では学校が避難所として想定して学習をし、また学校運営協議会の委員の方も招いて開催したため、生徒たちは地域の一員であることを実感してくれたと想像できる。今後の課題としては、カリキュラムマネジメントという視点では知識等不足していると感じているため、学んだ上で教職員とのコミュニケーションを図り、教育と経営資源をつなぐ役割を果たしたい。